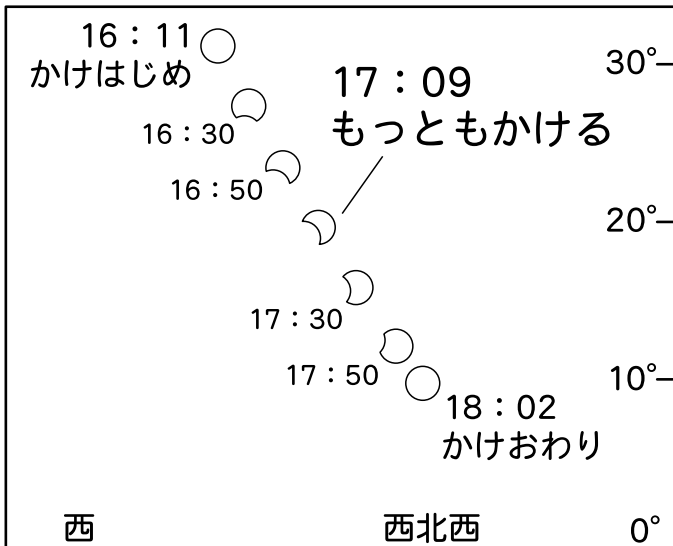


# 6/21(日)部分日食を見よう!



## ▲久喜でのみえかた

安全な日食グラスを使用しても、長時間観察を続けるとやはり目を傷めてしまいます。休まず見続けるようなことはせず、2～3分おきに、こまめに目を休めるようにしましょう。

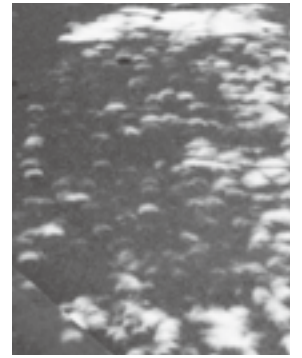
直接太陽を見ずに観察できる簡単な方法に、太陽をピンホールを通して地面などに映すやり方があります。ボール紙に穴を開けた小さな穴（穴は丸くなくても大丈夫です）を通すと、穴けた太陽の形が映し出されます。お菓子のクラッカーなどの穴や、おたまの穴など、身近ないろいろなもので試してみるのも面白いでしょう。木々の木漏れ日でも、ピンホールと同じことが起こります。また、小さな手鏡で離れた壁に太陽を映しても、穴けた様子わかります。

## ●安全な観察のしかた

■安全な日食グラスを使う



■木漏れ日を見る

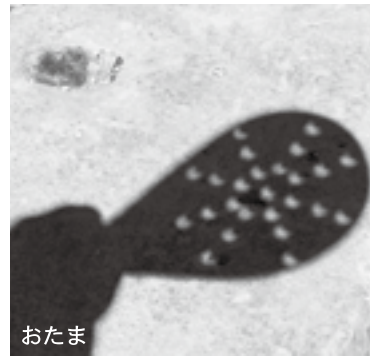


©小林毅(県立久喜高校)

■ピンホールを通して映して見る



クラッカー  
©国立天文台



おたま

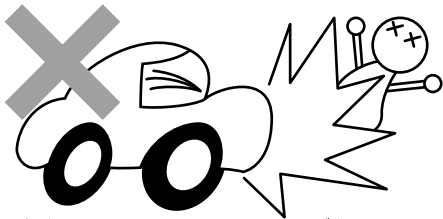
■小さな手鏡で離れた壁に太陽を映して見る



©兵庫県立西はりま天文台公園

## ●やってはいけないこと

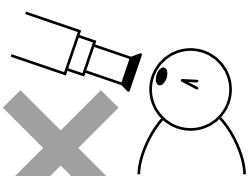
■きけんな場所での観察



※車などの来ない安全な場所で

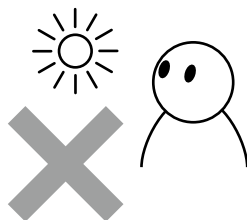
観察しよう!

■望遠鏡でのぞく



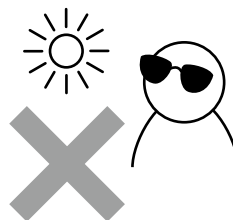
※一瞬で目が焼けます!  
絶対にやめてください!

■じかに太陽を見る



※太陽の光は強く、目に悪い光も含まれており、上の道具は見た目に光が弱まっても、目に悪い光までは防げないため目を傷めてしまいます。

■安全ではない道具で観察する



- × 普通のサングラス
- × 普通の黒い下敷き
- × 黒いビニール
- × ススをつけたガラス
- × 黒く感光したフィルム

観察には安全な日食グラスなどを使おう! たとえ日食グラスをかけていても、2～3分おきに見るのをやめ、目を休めてね!

